

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和7年 1月 10日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO・ <u>地域DMO</u>	
観光地域づくり法人の名称	甲府観光開発株式会社	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 山梨県甲府市	
所在地	山梨県甲府市湯村3丁目2番36号-201	
設立時期	2021年12月10日	
事業年度	12月1日から翌年11月30日までの1年間	
職員数	5人【常勤3人（正職員1人・出向等2人）、非常勤取締役2人	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	（氏名） 笹本 健次 （出身組織名） 湯村温泉旅館協同組合	湯村温泉旅館協同組合の理事長であり、県旅館ホテル生活衛生同業組合の理事長、甲府市観光協会副会長など兼任し、地域の観光推進のパイプ役となっており、在任期間中、様々な取組で成果を挙げている。 当社代表取締役。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー）	（氏名） 竹村 潤一「専従」 （出身組織名） （株）JTB	JTBにて16年間、観光を基軸とした地方創生事業に従事し、データ分析に基づいたマーケティングやプロモーションに高い知見を持つ。JTBでは、交流創造プロデューサーとして、甲府支店に駐在し、山梨県内周遊促進事業の開発を手掛けている。当社執行役員。
財務責任者（CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー）	（氏名） 大木 恭子「専従」 （出身組織名） 湯村温泉旅館協同組合	組合運営、経理処理全般を20年近く担当し、地域の厚い信頼を得ている。 組織運営だけでなく、近年増加している補助金・助成金等の経理処理（申請、報告等）に習熟している。
各部門（例：プロモーション）の責任者（専門人材） ※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること	（氏名） 末武進一「専従」 （出身組織名） 株式会社常磐ホテル マネージャー	信玄の湯 湯村温泉郷の旧甲府富士屋ホテル、甲府記念日ホテル、常磐ホテルにて33年間勤務。ホテルのレストラン、宴会、フロント、婚礼などの営業部門と総務、購買、施設管理などの管理部門でのマネジメントなどを経験。 観光マーケティングについても高い知見と能力を持つ。現在、湯村温泉郷に新たに誕生する旅館明治の立上げに奔走中。当社事務局。
各部門（例：旅行商品の造成・販売）	（氏名） 芦澤 卓夫	昇仙峡観光協会の会長であり、地域を代表する観光コンテンツである「昇仙峡ロープウェイ株式会社」代

の責任者（専門人材）	（出身組織名） 昇仙峡観光協会	表取締役である。観光地の魅力づくりに高い知見と能力を持っている。当社取締役。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	山梨県観光文化・スポーツ部 （山梨県内の観光振興、誘客促進及び周遊促進） 山梨県甲府市産業部産業総室観光課（甲府市全体の観光振興及び誘客促進） 山梨県甲斐市産業振興部商工観光課（昇仙峡地域の観光振興及び誘客促進） <u>上記3行政と当社の4者は、地域の観光資源の磨き上げや、周遊観光の促進など、湯村温泉及び昇仙峡の高付加価値化を図ることにより本県全体の観光振興を推進することを目的として、令和4年2月に観光振興に関する連携協定の締結。</u>	
連携する事業者名及び役割	甲府市観光協会（情報発信や観光業の資質向上） 甲府商工会議所（各種支援策の提供と事業者支援） 山梨交通（二次交通）（地域交通計画の策定と運用） 昇仙峡観光協会（協働して観光地としての魅力づくりを行う） 湯村温泉旅館協同組合（湯村温泉地区の観光広告・宣伝） 塩澤寺（地域の文化財）	
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	① 甲府観光開発定例連絡会（取締役会）は2週に一度のペースにて実施しており、議事により、行政や関係団体も交えて定期的な実施（月に1回程度）している。 ② 令和5年度「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」における事務局として、甲府・昇仙峡エリアの申請事業者に向けたアドバイスを実施。また面的DX化事業も同時に進行し、観光資源の関係者、宿泊事業者、交通事業者、行政に向けた研修会を実施しており、その事務局を担っている。 ③ 甲府エリアにおけるキラーコンテンツである「昇仙峡エリア」は日本遺産に認定されており、公益社団法人日本観光振興協会が推進する「日本遺産体験周遊ツーリズム事業」にて当社が事務局を担っている。行政（甲府市・甲斐市）、観光協会、宿泊事業者、大学、コンテンツ開発事業者、旅行会社からなる有識者委員会を設置し、これまで4回検討会議を実施した。次年度以降も継続予定。 ④ 令和6年には、当社において増資を募り、山梨県を代表する宿泊事業者、交通事業者、レンタカー事業者、観光資源関係者、食品メーカーなどの幅広い分野からの出資をいただき、当社の観光まちづくりにおいて賛同をいただいている。株主総会をはじめとして、意見交換の場にて合意形成を図っている。 ⑤ 当社の代表取締役は山梨県旅館ホテル生活衛生同業組合の理事長で、かつ甲府観光協会の副会長、甲府商工会議所の議員を務めており、多様な地域事業者との連携を図り、合意形成に努めている。	
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	湯村温泉の再開発事業においては、地域住民へ向けた説明会を実施している。また自治会とは定期的に意見交換を実施しており、再開発に向けた機運醸成に努めている。また、日本遺産「甲州の匠の源流・御嶽昇仙峡」の地域住民への認知拡大や愛着心の向上を目的に、地域住民を中心にロゴマークの一般募集を実施。	

	信玄の湯 湯村温泉再開発事業計画「説明会」実施日 ・令和5年12月4日 地域住民へ事業概略、河川改良工事に関して説明 ・令和6年4月29日 湯村町自治会総会にて各組長へ事業概略説明 ・令和6年5月16日 湯村温泉旅館協同組合総会懇親会にて地域住民を招待し事業概略説明 ・令和6年11月1日 金精軒 Café お披露目会にて、地域住民へ事業概略説明						
法人のこれまでの活動実績	【活動の概要】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th><th>実施概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信・プロモーション</td><td> ・<u>令和2年商店街活性化・観光消費創出事業(経産省)</u> 【具体事業内容】経済産業省の補助を受けて、地域 WI-FI の整備、地域食の提供提案、特産品開発および地域商店への多言語翻訳機の貸与、地域イベントを開催。またホームページの更新、パンフレットの多言語化、配布先開拓など行った。 ・<u>令和5年度インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業(観光庁)</u> 【具体事業内容】昇仙峡を中心としたインバウンド向けアドベンチャーツーリズムコンテンツの磨き上げを行い、インフルエンサー、旅行会社やメディアを招請し、プロモーションを行った。 </td></tr> <tr> <td>受入環境の整備</td><td> ・<u>令和3年 観光拠点再生計画(観光庁)</u> 【具体事業内容】各旅館ホテルの機能強化と付加価値増、感染対策の徹底 ・<u>令和5年 昇仙峡にてスマートゴミ箱(圧縮・自動回収のシステム)の設置</u> 【具体事業内容】昇仙峡のごみ問題対策や景観維持を目的に、IoT 技術を活用したスマートゴミ箱の設置を、JTB、公益社団法人日本観光振興協会、日本たばこ産業株式会社と連携し、当社が主体となって実施。観光客の受入環境課題を解消すると同時に多くのメディアにて報道され、エリアの認知向上に繋がった。 ・<u>令和5年 やまなし観光 MaaS 事業</u> 【具体事業内容】環境配慮型次世代乗り物「PiiMo」を当社にて購入。やまなし観光 MaaS の一交通機関として、10～11 月に昇仙峡の渓谷沿いの道路を運行し、当社にて管理を実施。 ・<u>令和5年度 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業</u> 【具体事業内容】 インバウンド観光客に向けて、古来からの癒しとパワーの絶景スポット「日本遺産 昇仙峡」にて、唯一無二のアウトドア体験ができる心も体も癒される極上のアドベンチャーツーリズムを新たに造成し販売。 </td></tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	情報発信・プロモーション	・<u>令和2年商店街活性化・観光消費創出事業(経産省)</u> 【具体事業内容】経済産業省の補助を受けて、地域 WI-FI の整備、地域食の提供提案、特産品開発および地域商店への多言語翻訳機の貸与、地域イベントを開催。またホームページの更新、パンフレットの多言語化、配布先開拓など行った。 ・<u>令和5年度インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業(観光庁)</u> 【具体事業内容】昇仙峡を中心としたインバウンド向けアドベンチャーツーリズムコンテンツの磨き上げを行い、インフルエンサー、旅行会社やメディアを招請し、プロモーションを行った。	受入環境の整備	・<u>令和3年 観光拠点再生計画(観光庁)</u> 【具体事業内容】各旅館ホテルの機能強化と付加価値増、感染対策の徹底 ・<u>令和5年 昇仙峡にてスマートゴミ箱(圧縮・自動回収のシステム)の設置</u> 【具体事業内容】昇仙峡のごみ問題対策や景観維持を目的に、IoT 技術を活用したスマートゴミ箱の設置を、JTB、公益社団法人日本観光振興協会、日本たばこ産業株式会社と連携し、当社が主体となって実施。観光客の受入環境課題を解消すると同時に多くのメディアにて報道され、エリアの認知向上に繋がった。 ・<u>令和5年 やまなし観光 MaaS 事業</u> 【具体事業内容】環境配慮型次世代乗り物「PiiMo」を当社にて購入。やまなし観光 MaaS の一交通機関として、10～11 月に昇仙峡の渓谷沿いの道路を運行し、当社にて管理を実施。 ・<u>令和5年度 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業</u> 【具体事業内容】 インバウンド観光客に向けて、古来からの癒しとパワーの絶景スポット「日本遺産 昇仙峡」にて、唯一無二のアウトドア体験ができる心も体も癒される極上のアドベンチャーツーリズムを新たに造成し販売。
事業	実施概要						
情報発信・プロモーション	・<u>令和2年商店街活性化・観光消費創出事業(経産省)</u> 【具体事業内容】経済産業省の補助を受けて、地域 WI-FI の整備、地域食の提供提案、特産品開発および地域商店への多言語翻訳機の貸与、地域イベントを開催。またホームページの更新、パンフレットの多言語化、配布先開拓など行った。 ・<u>令和5年度インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業(観光庁)</u> 【具体事業内容】昇仙峡を中心としたインバウンド向けアドベンチャーツーリズムコンテンツの磨き上げを行い、インフルエンサー、旅行会社やメディアを招請し、プロモーションを行った。						
受入環境の整備	・<u>令和3年 観光拠点再生計画(観光庁)</u> 【具体事業内容】各旅館ホテルの機能強化と付加価値増、感染対策の徹底 ・<u>令和5年 昇仙峡にてスマートゴミ箱(圧縮・自動回収のシステム)の設置</u> 【具体事業内容】昇仙峡のごみ問題対策や景観維持を目的に、IoT 技術を活用したスマートゴミ箱の設置を、JTB、公益社団法人日本観光振興協会、日本たばこ産業株式会社と連携し、当社が主体となって実施。観光客の受入環境課題を解消すると同時に多くのメディアにて報道され、エリアの認知向上に繋がった。 ・<u>令和5年 やまなし観光 MaaS 事業</u> 【具体事業内容】環境配慮型次世代乗り物「PiiMo」を当社にて購入。やまなし観光 MaaS の一交通機関として、10～11 月に昇仙峡の渓谷沿いの道路を運行し、当社にて管理を実施。 ・<u>令和5年度 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業</u> 【具体事業内容】 インバウンド観光客に向けて、古来からの癒しとパワーの絶景スポット「日本遺産 昇仙峡」にて、唯一無二のアウトドア体験ができる心も体も癒される極上のアドベンチャーツーリズムを新たに造成し販売。						

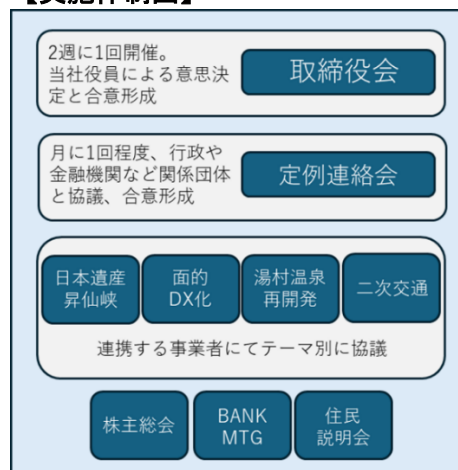
	・令和5年 第3回「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」採択 【具体事業内容】16 事業者交付決定。申請書作成にあたり、当社にて勉強会やセミナーを実施した。 ・令和5・6年 第3回「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業 面的DX化」採択 【具体事業内容】R5 年度下期よりDX 推進に向けた地域課題の整理や理解し取組の推進へ向けた機運醸成を目的に研修会の実施。R6 年度は、アンケートデータ収集のシステムを構築し、BI ツールを活用し、地域事業者へ結果の共有とデータの可視化を行った。 ・令和6年「信玄の湯湯村温泉」再開発事業計画 策定業務 【具体事業内容】山梨県、甲府市が高付加価値化に取り組む地域に対する支援を活用し、稼げる観光地域として面的な再開発計画（マスタープラン）を作成。	
	観光資源の磨き上げ ・令和5年公益社団法人日本観光振興協会「日本遺産体験周遊ツーリズム事業」 【具体事業内容】行政、観光協会、宿泊事業者、大学、コンテンツ開発事業者、旅行会社からなる有識者委員会にて、昇仙峡エリアのテーマ性の高いツアーモデルルートの造成。 ・令和6年公益社団法人日本観光振興協会「日本遺産体験周遊ツーリズム事業」 【具体事業内容】令和5年に造成したモデルルートのモニターツアー実施や認知度向上を目的にプロモーションを実施。 【定量的な評価】 令和2年はインバウンド需要の獲得、地域魅力づくりを目指して各種事業をおこなったが、コロナ禍の発生により、事業効果は上げることができなかった。 令和3～4年はコロナ禍への施設対応を進め、付加価値を高める事業に取り組んだ。コロナ禍には、市内宿泊者は激減となったが、全国支援の効果もあり、甲府市全体で、令和4年1月～12月で625千人泊、令和5年669千人泊まで回復した。令和6年は現在集計中だが、インバウンドによる宿泊者増加が期待できる。また、「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」の採択によって湯村温泉に建築を進めている新築旅館も令和7年夏にオープンを予定しており、さらなる宿泊者の増加が見込める。 観光まちづくりでの成果としては、湯村温泉再開発事業の第一弾として、令和6年11月1日に山梨県の老舗和菓子メーカーの「金精軒」が温泉街入口の空き店舗を活用し、カフェを新規オープン。多くのメディアにも取り上げられ、その話題性は県内外に広がりを見せており、温泉街に新たな人の流れが生まれつつある。	

実施体制

※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

【実施体制の概要】

2週に一度のペースにて実施している甲府観光開発定例連絡会（取締役会）には、月に1回程度行政や交通事業者等の関係団体と観光地域づくりに関する課題の洗い出しや施策の検討、再開発事業の進捗の共有を行っている。また各テーマ別の事業においても当社が主体となり、行政、宿泊業者、飲食業者のみならず、交通事業者、地域観光団体、アクティビティ事業者、金融機関、大学など多様な関係者と密接に連携した運営を実施。

【実施体制図】

2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

市北部の昇仙峡エリアが甲府市におけるキラーコンテンツであり、平成 28 年から湯村温泉の宿泊客に対してライトアップされた昇仙峡のナイトバスツアーを実施。令和 3 年度には日中の回遊バスを試験運行した。また令和 5 年より日本遺産ツーリズム事業を実施するなど、市内周遊促進において連携を強化してきた。

また、交通事業者、旅行会社と連携し、市内路線バスの乗降フリーパス商品も造成した。JR 東日本中央線と将来開通するリニア中央新幹線駅利用者をターゲットとして、湯村温泉を二次交通の HUB とした域内観光の周遊促進を推進していることから、当該市（甲府市）を区域設定とするのが適切。

【観光客の実態等】

観光客数は、令和 1 年時点で年間 612 万人を記録していたが、コロナ感染症拡大の影響により大幅に減少。令和 4 年には 500 万まで回復し、令和 5 年は微増するものの、令和 1 年までの入込数までは達していない状況。

宿泊客数は、コロナ禍前は 82 万人で令和 4 年は 62 万人、令和 5 年は 67 万人まで回復した。宿泊施設は、温泉を備えた観光客ニーズに対応した施設からビジネス需要に至るまで多様で、地域イベント（各種式典、展示会等）にも対応出来る施設があり、甲府市は山梨を代表する宿泊エリアである。

また山梨県の 1 人当たりの平均観光消費額は 11,196 円（出典：令和 4 年山梨県観光入込客統計調査報告書）となっており、甲府市産業部 商工観光室 観光課にて令和 5 年より調査を開始した観光消費額は 8,758 円で、県の平均を若干下回る。

	R1	R2	R3	R4	R5
	2019	2020	2021	2022	2023
観光入込客数(人)	6,121,992	3,369,368	3,870,939	5,089,053	5,115,733
宿泊者数(人)	824,173	535,186	570,768	624,562	669,385
1人当たり観光消費額(円)	—	—	—	—	8,758

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

※観光資源の活用方法についても記入すること。

・伝統的な祭り

「信玄公祭り」は市内最大の祭りであり、出陣騎馬数はギネスにも登録あり。令和5年は記念すべき節目の50回開催で、実施したイベント期間中3日間の総観客動員数は、過去最高の23万5千人を記録し、そのうちインバウンドの参加者は約4000名で、外国人騎馬隊も編成された。来訪者に向け、甲府市観光資源の認知度向上を目的に、アンケートプロモーションを実施。

・温泉

「信玄の湯 湯村温泉」は、山梨県甲府市北部に位置する温泉街である。2021年に武田信玄生誕500年に当たり、山陰の湯村温泉との差別化とネットにおける検索のしやすさを目的として、名称を「信玄の湯 湯村温泉」へと改名。

明治時代以降は、井伏鱒二、太宰治、松本清張、山口瞳（湯村温泉に定宿を持つ）、田山花袋、飯田蛇笏、竹中英太郎、中村宗久、赤池東山など多くの文人、俳人、画家、書家も逗留・居住した。更に現在は、将棋の藤井聡太や囲碁の井山裕太らの対局の地にも選ばれて話題を呼んでいる

・自然

昇仙峡は、国の特別名勝と日本遺産に指定されており国内有数の景勝地であり、「日本五大名峡」の一つに数えられている。甲府市、昇仙峡地域活性化推進協議会と連携を図りながら、公益社団法人日本観光振興協会の日本遺産周遊ツーリズム事業（令和5～6年度）を進めており、事業終了後も自走化を目指している。

・食

甲州牛・ワイン・ぶどう・ほうとう等は全国的にも有名な食文化であり、ワインは生産量日本一となっている。ほうとうは、山梨県を中心とした地域で作られる郷土料理であり、2007年には農林水産省により各地に伝わるふるさとの味の中から決める「農山漁村の郷土料理百選」の中の1つに選ばれている

・ジュエリー

甲府は水晶発祥の地であり、旧石器時代から日常的に水晶加工品が使われてきた地域。その技術は、昇仙峡金櫻神社の神官たちにより高められ受け継がれてきた。現在も宝石研磨として引き継がれており、宝石産業は甲府の半独占産業となっている。（事業者数：全国の30%、出荷量：全国の25%）今後は、産業ツーリズムを通して、宝飾産業のBtoBからの脱却とBtoCへの販路拡大を目指し、展示・販売施設「ジュエリープラザ」を新設する。

・歴史・文化、伝統工芸

伝統工芸では印鑑彫刻、印伝が主なもので、水晶細工と印伝は、経済産業省の伝統的工芸品に指定されている。また甲府市の寺社は武田氏により保護され、城下町整備において計画的に創建や移転が行われたことで、数多くの寺社が分布している。現在では武田氏に関係する歴史的観光資源としても機能している。

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

甲府駅からは至近の「信玄の湯・湯村温泉」は、日本最古の温泉の1つであり武田信玄の隠し湯としても名高い。弘法大師の開湯以来1200年、8つの良質な源泉を保有し、武田家三代も通った記録が残る歴史ある温泉である。戦前は太宰治や井伏鱒二が逗留し、執筆した宿や部屋が今も残されている。皇室御用達ホテルからビジネスホテルまで多彩な宿泊施設が揃っている。また、駅周辺や中央高速道路インター付近、国道20号沿いにはビジネスホテルが多く立地している。

	R1	R2	R3	R4	R5
	2019	2020	2021	2022	2023
旅館・ホテル施設数（施設）	69	68	67	68	66
客室数（室）	3,596	3,712	3,691	3,792	3,768

【利便性：区域までの交通、域内交通】

東京から甲府駅まではJR東日本中央線特急を利用し、約1時間30分と都心からのアクセスが至便。空港連絡バスが直通する羽田空港と成田空港、直通する交通機関こそないものの鉄道から空港連絡バスの1回の乗り継ぎで行くことが出来る信州まつもと空港や富士山静岡空港も利用することが可能。またリニア中央新幹線の建設が進められており、このうち山梨県内の停車駅が甲府駅から離れた南部の甲府市大津町に建設される計画がある。また、リニア山梨県駅（仮称）と甲府駅のアクセス向上を目指し、両駅間でのシャトルバスの導入も検討されている。

【外国人観光客への対応】

令和2年に多言語HPの作成、多言語パンフレットの作成、多言語翻訳機の地域内配布、地域内Wi-Fiの整備、館内施設の多言語表示、通訳士による地域ガイド、遊覧用電動自転車の確保等様々な対策を行った。令和5年には観光庁「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」にて、当エリアのキラーコンテンツである昇仙峡エリアを中心に、唯一無二のアウトドア体験ができる「心も体も癒される極上の観光商品」を造成し実証実験を実施した。インバウンド観光客が富士山観光の立ち寄り地となっている当該地域で、観光客の滞在時間と消費を拡大させ、加えて地域産品の活用で、観光業のみならず1次産業まで消費による効果を波及させるコンテンツの磨き上げを行った。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	甲府市産業部商工観光室観光課の調査データを活用。
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	甲府市産業部商工観光室観光課の調査データを活用。
来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため。	アンケート調査を自主事業として実施。
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	アンケート調査を自主事業として実施。
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	甲府市観光協会収集データを活用して実施。
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	地域懇談会・住民説明会等を実施。

(1) 地域における観光を取り巻く背景

山梨県内の国中地域における観光地の競争力は放置できないレベルまで劣化している。観光入込数の減少の続く昇仙峡や、年々旅館数の減少が続く湯村温泉郷は、今すぐに抜本的な対策を講じ、将来的に魅力ある持続可能な観光地としての再生が最大の課題となる。

山梨県・甲府市との連携により、コアエリアである「湯村温泉」の再開発計画（戦略）を策定した。
※別添ありこの計画は、昇仙峡・湯村温泉郷を観光資源とした国中地域の観光再活性化を目的に設立された当社が中心となり作成している。人々が行き交うまちづくり、温泉街らしいスペースと景観の復活を目標としている。主な施策としては、老朽化した既存旅館施設を解体しリニューアル。山梨が誇る本物の「食」と「酒」が出会える産品物販ゾーンとカフェ&バル業態を備えたマルシェの新設。また山梨のジュエリー産業が日本一であることを体感できるジュエリープラザの新設で、市内産業の活性化と産品・工芸品が顧客へ行きわたることによる新たな地域ブランドの確立を目指している。また令和16年のリニア中央新幹線開業を踏まえ、今後は湯村温泉郷を国中地域の集客拠点と位置づけ観光まちづくりを図り、二次交通の発着拠点整備、周遊先の観光資源の磨き上げを行い、新たな人流を創造する。この戦略を推進することで、新たな雇用の創出や担い手不足の解消へもつなげることとしている。（国中地域とは甲府盆地の総称）

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) ・武田信玄の隠し湯として名高い湯村温泉や日本一の渓谷美を誇る御嶽昇仙峡等の観光資源 ・信玄の湯湯村温泉は8つの良質な源泉があり、弘法大師の開湯以来1200年、武田家三代も通った記録が残る歴史を持つ ・御岳昇仙峡は国の特別名勝と日本遺産に指定され、「日本一の渓谷美」といわれている ・山梨ジュエリーや各種フルーツなどの名産品 ・東京から約1時間30分という首都圏からの良好なアクセス	弱み (Weaknesses) ・観光地としてのイメージ醸成不足・プロモーション不足による競争力・ブランド力の低下 ・温泉・自然環境と魅力あるコンテンツがあるが、イメージ醸成が弱く、地域としての競争力・ブランド力が弱い ・コロナ感染症の影響で休業・廃業した店舗への対応が追い付いておらず、場所によってはシャッター街と化している ・アクセスの良さ故に滞在時間が短い ・周遊性が低く、観光客の7割が日帰客 ・データの収集・活用が出来ていない
外部環境	機会 (Opportunity) ・高速道路・リニア中央新幹線開通による首都・中部・関西圏からの交通アクセスの向上 ・中部横断自動車道の山梨ー静岡間の全線開通による中部圏からのアクセス向上 ・マイクロツーリズムへの関心の高まりによる首都圏からの観光客の増加	脅威 (Threat) ・富士五湖や長野・静岡へ訪問する際の経由地となっている（他競合地域との競争の激化） ・都市化により観光資源が侵食 ・コロナ禍での減収により、十分な設備投資が行われず、宿泊施設の弱体化が進行 ・観光トレンドの変化に施設・サービスが追いついていない

(3) ターゲット

○第1ターゲット層 エリア：既存顧客でもある首都圏4,434万人のマーケット、中部横断道・松本/静岡空港などからのアクセスが至便となったな中京圏 属性：都会の喧騒から離れゆっくりと温泉や自然を楽しみたいカップル・夫婦
○選定の理由 首都圏からのカップル・夫婦がこれまでの最大マーケットであり、首都圏在住観光客の再獲得を目指す。特に、既存観光客の4割を占めるカップル・夫婦層の獲得を最優先事項とする。また将来的にリニア中央新幹線開通により首都圏だけでなく、中京圏・関西大都市からのアクセス性が改善される。そのため、甲府市へ訪れると想定される中京・関西都市に在住の取り込みも可能となる。 ○取組方針 本年度から当社にて実施のアンケート調査から、再来訪意向につながる要因を分析するとともに、カップル・夫婦層に強力に訴求するコンテンツを磨き上げる。また、ターゲットに向けてはデジタルプロモーションを軸に活動を実施する。中京圏や関西圏においては、関東圏に比べて甲府に対するイメージが薄いので、行政や観光協会にて実施するキャラバン等に帯同し、また駅や空港等でのタッチポイントにてPRプロモーションの実施を検討する。
○第2ターゲット層 エリア：既存顧客でもある首都圏4,434万人のマーケット、中部横断道・松本/静岡空港などからのアクセスが至便となったな中京圏 属性：温泉や名産品にプチ贅沢を求める女性グループ
○選定の理由 山梨の美酒・美食・ジュエリーなど女性層の満足度が得られるコンテンツが豊富。湯村温泉には中～高級ランクの旅館があり、プチ贅沢感を求める客層にアプローチが可能になる。 ○取組方針 本年度から当社にて実施のアンケート調査から、再来訪意向につながる要因を分析するとともに、女性グループ層に強力に訴求するコンテンツを磨き上げる。また、温泉・名産品を市観光サイトや湯村温泉公式サイト上で販売する仕組み（ECコンテンツ）を構築する。ここへの集客として30～50代女性へむけたプロモーションを実施し、まずは認知度の拡大を図る。
○第3ターゲット層 エリア：既存顧客でもある首都圏4,434万人のマーケット、中部横断道・松本/静岡空港などからのアクセスが至便となったな中京圏 属性：温泉、自然・アクティビティを楽しみたいファミリー層
○選定の理由 コロナ後のファミリー層の旅行目的として国内の温泉旅行、レジャー・自然旅行が第1、2を占めており、甲府においても伸びしろのある層となり得る。強みであるアクセスの良さを訴求することで、ファミリー層が旅行に行く際の障壁を取り除くことが期待される ○取組方針 本年度から当社にて実施のアンケート調査から、再来訪意向につながる要因を分析するとともに、女性グループ層に強力に訴求するコンテンツを磨き上げる。コンテンツとしては、ファミリーで楽しめるアクティビティを開発し、ファミリー向けメディアを活用し、域外へプロモーションを実施する。
○ターゲット層 エリア：台湾・香港を中心としたインバウンド 属性：日本文化や歴史に興味のある訪日リピーター
○選定の理由 東京からのアクセスの良さと伝統・文化が共存した街並みを積極的に発信していくことで、体験型観光を重んじるインバウンド（リピーター）の獲得が可能。香港・台湾人はヘビーリピーター層の割合が多く、富士山のようなメジャー観光地だけでなく、地域ならではの体験を求める傾向が高いため。 ○取組方針 域内の各観光施設・宿泊施設・観光案内所等の要衝におけるインバウンド対応状況と来場者数、国籍を把握する。また、山梨県内にてインバウンドが一極集中している河口湖・富士山エリアから甲府へのモデルツアーを開発し、誘客の拡大を図る。

(4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	○湯村温泉 「湯村温泉は甲府・やまなしブランド発信拠点になる」 ○甲府市全体 「自然・歴史・文化が人を呼び賑わいを創出する信玄公生誕の地・甲府」 ※第3次甲府市観光振興基本計画
②コンセプトの考え方	○湯村温泉 甲府・やまなしが誇る歴史（武田信玄/日本遺産 御嶽昇仙峡）・温泉（日本遺産 開湯 1200 年信玄の湯 湯村温泉）・美食（ワイン・日本酒/甲州牛/ほうとう/いちご/ぶどう/桃）・特産品（ジュエリー/印伝）など恵まれた地域固有資源から「本物」だけを集積しながら多様な人が交流する賑わいを創出し、次世代に繋ぐ持続可能な観光地の復活を目指す。 ○甲府市全体 甲府市は自然（日本遺産 昇仙峡）・歴史（武田信玄/日本遺産 昇仙峡）・文化（印伝/宝飾研磨）など魅力的な資源に恵まれている。それは、大きな「強み」。その観光資源のさらなる磨き上げを観光事業者や関係団体とともにを行い、それらを活用した観光のまちづくりを目指していく。また、付加価値の高い観光コンテンツや周遊プランの造成に向け、地域に根ざした体制を構築し、多くの観光客が行き交い賑わいのある観光地を目指す。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	地域が有する観光資源を最大限活用しながら、多様な関係者とともに観光地域づくりに関する戦略策定やその共有を実施。 当社が実施する事業や計画等の共有、観光資源の磨き上げや受入環境整備等の着地整備、プロモーション等の観光地域づくりに関する課題の洗い出し及び施策の検討等を行うことを目的に以下を実施する。 ① 定例連絡会（取締役会）は月に2回のペースにて実施。 2回のうち1回は行政や二次交通事業者、関係団体なども交えた定例連絡会を実施する。 ② 現在実施の「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」面的DX化事業において、観光資源の関係者、宿泊事業者、交通事業者、行政へ向けた研修会を継続的に実施。年2回を予定。 ③ 当エリアにおけるキラーコンテンツである「昇仙峡エリア」の活性化の推進を目的とする協議会「昇仙峡地域活性化推進協議会」へ当社も参画し、エリア内の周遊や宿泊促進を目指す。

観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	飲食店や宿泊施設をはじめとする地域が提供する観光サービスに係る品質の点検と、消費動向や顧客需要の把握を定期的に行う。また、湯村温泉再開発における観光まちづくりにおいて、観光客に向けたあらたな提供サービスの検討を行う。 ① 地域パンフレットの更新に併せて、山梨県中小企業診断士協会に委託し、「強み」を発見し、提供サービスの点検を行う計画。 ② 宿泊施設では、客室の洋間化や個別露天風呂等を改築設置した旅館ホテルに対して、ニーズや・経営貢献度などヒアリングする。 ③ 当社にて実施したアンケートデータを面的DX化事業にて構築したBI ツールにて提供し、各事業者のマーケティングやプロモーションへ活用できる仕組みを構築する。 ④ 周遊性の改善を目的とした域内の二次交通アクセス整備を交通事業者と検討する。 ⑤ 湯村温泉再開発に伴い、観光案内所の設置を域内事業者と検討する。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業 面的DX化事業にて、地域内の観光DXへの理解促進と機運醸成が図られた。今後は、当社にてデータを複合的に分析し、正確で効果的なマーケティングを行いながら、以下を実施していく。 ① WEB アンケートシステムの構築（継続） ② 旅マエを意識したHPでの情報発信 ③ 着地型コンテンツの造成と一元的予約決済の仕組み作り ④ 新設されるマルシェや地域産品のECサイトを構築

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. K P I (実績・目標)

(1) 必須 K P I

指標項目		2021 (R 3) 年度	2022 (R 4) 年度	2023 (R 5) 年度	2024 (R 6) 年度	2025 (R 7) 年度	2026 (R 8) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	()	()	()	61,178 ()	77,339 ()	97,769 ()
	実績	()	()	44,804 ()			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	()	()	()	767 (38)	868 (63)	982 (104)
	実績	571 (1)	625 (4)	665 (14)			
●来訪者満足度 (%)	目標	()	()	()	73% ()	75% ()	77% ()
	実績	()	()	70.4 ()			
●リピーター率 (%)	目標	()	()	()	70% ()	72% ()	74% ()
	実績	()	()	68% ()			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」、『「信玄の湯湯村温泉」再開発事業計画策定業務』などで甲府市と強力な連携しているため、甲府市観光振興基本計画の掲げる旅行消費額と延べ宿泊者数 K P I の達成を目指す。また来訪者満足度とリピーター率については、本年度から実施した当社独自調査をもとにその実績から K P I を設定する。

●旅行消費額

甲府市観光振興基本計画における数値目標に準ずる。旅行消費額については、令和 5 年より調査を実施。インバウンド誘致の強化と甲府駅南口や湯村温泉の再開発による観光消費額アップを目指す。目標値の考え方は、令和 5 年度上期実績 44804 千円を基準として、令和 6 年度を約 20%アップ、令和 7 年度を約 42%アップと設定。令和 8 年度は、令和 6 年から令和 7 年度の進捗率をもとに算出。ただし、令和 7 年度に第 4 次甲府市観光振興基本計画を策定予定のため、策定後に見直しを行う。

●延べ宿泊者数

甲府市観光振興基本計画における数値目標に準ずる。目標値の考え方は、令和元年を基準として、日本人宿泊客は令和 7 年に 5%アップ、外国人宿泊客は令和 7 年までに 10%と設定。令和 8 年度は、令和 6 年から令和 7 年度の進捗率をもとに算出。ただし、令和 7 年度に第 4 次甲府市観光振興基本計画を策定予定のため、策定後に見直しを行う。

●来訪者満足度

2024 年から宿泊施設、観光施設にて実施した独自調査のデータを活用しながら設定。

令和 7 年には甲府駅南口に観光交流拠点、湯村温泉新築旅館の開業、令和 8 年には湯村温泉再開発によって、さらなる満足度の向上を目指す。

●リピーター率

2024 年から宿泊施設、観光施設にて実施した独自調査のデータを活用しながら設定。

初来訪者は 32%で、その方々のリピートを毎年 2%アップを目指す。

(2) その他の目標

指標項目		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
●メディア掲載回数 (回)	目標				20	25	30
		()	()	()	()	()	()
	実績	1	0	10			
●湯村温泉宿泊者数 (人)	目標				100,000	120,000	150,000
		()	()	()	()	()	()
	実績	58,579	102,104	88,884			
●新築宿泊施設の稼働率 (%)	目標				69.1%	63.9%	65.9%
	実績						

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値 ※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」の採択により、「信玄の湯湯村温泉」再開発事業計画が令和5年から開始され、その取組がメディアより注目を集めるようになった。令和6年には新築旅館の着工と老舗和菓子屋とタイアップするカフェが温泉街入口にオープンし、さらに注目を集めている。令和7年には、湯村温泉に新築旅館がオープンすることでさらなる注目を集め、認知度がアップすることが想定される。よって、メディア掲載回数、湯村温泉宿泊者数と新築旅館の稼働率をKPIとして設定した。

【設定にあたっての考え方】

●メディア掲載回数

信玄の湯湯村温泉再開発におけるリアルな情報をメディアに配信し、話題性の喚起と認知度向上を図る。

●湯村温泉宿泊者数

湯村温泉旅館協同組合による数値目標に準じる。

●宿泊施設の稼働率

新設旅館の収支計画に準じる。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2021（R3）年度 R3.12月～R4.11月	9,711,310（円）	株主出資金：各 100 万円 湯村温泉旅館協同組合・昇仙峡観光協会・ 株式会社 JTB 3,000 千円 【収益事業】 コンサル料 5,500 千円 賃貸料 1,211 千円 9,711,310（円）
2022（R4）年度 R4.12月～R5.11月	18,419,201（円）	【株主出資金（増資）】 3,500 千円 【収益事業】 コンサル料 6,898 千円 賃貸料 2,907 千円 【国からの補助金】 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた 観光コンテンツ造成支援事業 5,030 千円 【雑収入】 受取利息割引料/受取配当金 84 千円 18,419,201（円）
2023（R5）年度 R5.12月～R6.11月	87,084,161（円）	【株主出資金（増資）】 41,500 千円 【収益事業】 賃貸料 2,907 千円 受託事業（日本観光振興協会） 995 千円 【国からの補助金】 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加 価値化事業」 22,432 千円 【甲府市からの補助金】 マスタープラン策定補助金 7,800 千円 【山梨県からの補助金】 マスタープラン策定補助金 5,000 千円 【雑収入】 受取利息割引料/受取配当金 6,423 千円 その他雑収入 27 千円 87,084,161（円）

2024（Ｒ６）年度 R6.12月～R7.11月	312,118,142（円）	【収益事業】 賃貸料 2,907 千円 受託事業（日本観光振興協会） 9,000 千円 宿泊施設運営事業 196,356 千円 【国からの補助金】 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業 面的 DX」 3,850 千円 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」 100,000 千円 【雑収入】 電柱土地使用料 5 千円 312,118,142（円）
2025（Ｒ７）年度 R7.12月～R8.11月	1,591,069,142（円）	【甲府市/山梨県からの補助金】 湯村温泉再開発補助金 600,000 千円 【財務的収入】 融資 675,000 千円 【収益事業】 宿泊施設運営事業 313,162 千円 賃貸料 2,907 千円 1,591,069,142（円）
2026（Ｒ８）年度 R8.12月～R9.11月	620,119,500（円）	【収益事業】 宿泊施設運営事業 320,544 千円 新観光施設「山梨マルシェ」運営事業 244,650 千円 新観光施設「甲府ジュエリープラザ」運営事業 51,926 千円 賃貸料 3,000 千円 620,119,500（円）

(2) 支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）
2021（Ｒ３）年度 R3.12月～R4.11月	6,623,463（円）	【一般管理費】 6,198 千円 【雑損失】 316 千円 土地譲渡解約金 【税金】 109 千円 6,623,463（円）
2022（Ｒ４）年度 R4.12月～R5.11月	16,178,148（円）	【一般管理費】 15,729 千円 【支払利息割引料】 378 千円 【税金】 71 千円 16,178,148（円）

2023（Ｒ５）年度 R5.12月～R6.11月	51,885,607（円）	【一般管理費】 44,547 千円 【支払利息】 7,156 千円 【税金】 183 千円 51,885,607（円）
2024（Ｒ６）年度 R6.12月～R7.11月	221,480,000（円）	【一般管理費】 15,000 千円 【宿泊施設運営事業】 売上原価 35,589 千円 販管費 170,891 千円 221,480,000（円）
2025（Ｒ７）年度 R7.12月～R8.11月	1,397,453,180（円）	【一般管理費】 15,000 千円 【湯村温泉再開発】 新観光施設「山梨マルシェ」建築経費 821,293 千円 新観光施設「甲府ジュエリープラザ」建築経費 255,286 千円 【宿泊施設運営事業】 売上原価 56,760 千円 販管費 249,113 千円 1,397,453,184（円）
2026（Ｒ８）年度 R8.12月～R9.11月	602,188,350（円）	【一般管理費】 15,000 千円 【宿泊施設運営事業】 売上原価 58,097 千円 販管費 252,786 千円 【観光施設「山梨マルシェ」運営事業】 売上原価 92,295 千円 販管費 135,660 千円 【新観光施設「甲府ジュエリープラザ」運営事業】 売上原価 15,297 千円 販管費 33,053 千円 602,188,350（円）

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

湯村温泉の再開発事業を核として、地域の活性化を担いながら継続的に運営資金確保を図っていく。

① 宿泊施設運営事業

「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」を活用し、現在新築旅館「旅館明治」をリニューアル中で、令和7年7月にオープン予定。現在の湯村温泉に存在しなかったアッパーミドル層向けの小規模旅館（＝準高級旅館）を作ること、幅広い顧客層向けの温泉地を目指す。

② 日帰り温泉施設運営事業

旅館明治に付随する形で、日帰り温泉施設を運営。地域の方や日帰り観光客に訴求することで、温泉街の賑わいづくりと地域の方と観光客の交流を創造する。

③ 小売り事業（「山梨マルシェ」・「甲府ジュエリープラザ」）

湯村温泉エリア内にマルシェスペースやジュエリーミュージアムを令和8年春の開業を目指し建築予定。山梨が誇る県産品を県内外に広くPRし、かつ旅先のお土産購入を促進する集客施設を作ること、観光消費額の単価向上を目指します。

④ 飲食事業

地域内の空き店舗を活用したカフェやbarなどのナイトコンテンツの充実を目指し、当社にて営業することを検討する。また昇仙峡やマルシェスペースと連携し、各種イベントを実施する。

⑤ インバウンド誘致事業

宿泊客のインバウンド比率の拡大に向けて、今後も国・県・市の補助や助成を積極的に活用し、一極集中する富士五湖エリアからの誘致を図る。

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

甲府観光開発株式会社は、山梨県・甲府市・甲斐市と連携協定を結んでおり、既にいくつかの事業で協働している。ついては、以下の発言を頂戴していることを報告いたします。

「甲府市は、甲府観光開発株式会社が当市の地域DMOとして登録され、今後の観光政策を協働で取り組んでいくために、両者にて本申請を行います。」

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携DMOや地域DMOとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

山梨県全域をエリアとする（公社）やまなし観光推進機構DMOとは、常時連絡を行い、双方の事業の効果を高めていく。当社代表取締役は機構DMOの評議員を務めている。

【区域が重複する背景】

地域連携DMOである（公社）やまなし観光推進機構は個別の地域事業に直接携わっていない。

【重複区域における、それぞれのDMOの役割分担について】

地域事業は当社で行い、対外発信支援や経営支援、権利調整など機構DMOで支援する。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

機構DMOも当社も少ない予算と人員の中で観光振興を目指しており、分担により効率的、効果的な活動の遂行が期待できる。

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	竹村 潤一
担当部署名（役職）	執行役員
郵便番号	400-0073
所在地	山梨県甲府市湯村 3-10-5
電話番号（直通）	055-252-2261
FAX番号	055-252-2269
E-mail	kofukk@bsec.jp

11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	山梨県
担当者氏名	小林 宏至
担当部署名（役職）	観光文化・スポーツ部 観光推進監
郵便番号	400-0031
所在地	山梨県甲府市丸の内一丁目 6-1
電話番号（直通）	055-223-3776
FAX番号	055-223-1574
E-mail	kobayashi-dwyu@pref.yamanashi.lg.jp

都道府県・市町村名	山梨県甲府市
担当者氏名	後藤 宗隆
担当部署名（役職）	産業部産業総室観光課 課長
郵便番号	400-8585
所在地	山梨県甲府市丸の内 1-18-1
電話番号（直通）	055-237-5702
FAX番号	055-227-8065
E-mail	sangkaka@city.kofu.lg.jp

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
山梨県甲府市
【設立時期】 2021年12月10日
【設立経緯】
区域に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMOを新設
【代表者】 笹本 健次
【マーケティング責任者(CMO)】 竹村 潤一
【財務責任者(CFO)】 大木 恭子
【職員数】5人【常勤3人(正職員1人・出向等2人)、非常勤取締役2人
【主な収入】
株主出資金 48百万円、国・県・市補助金 22百万円(令和5年度決算)
【総支出】
一般管理費ほか 52百万円(令和5年度決算)
【連携する主な事業者】
甲府市観光協会、甲府商工会議所、山梨交通、昇仙峡観光協会、
塩澤寺、JTB

KPI(実績・目標)

記入日: 令和7年 1月 10日

項目		2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年
旅行 消費額 (百万円)	目標	()	()	()	61,178 ()	77,339 ()	97,769 ()
	実績	()	()	44,804 ()	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	()	()	()	767 (38)	868 (63)	982 (104)
	実績	571 (1)	625 (4)	665 (14)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	()	()	()	73% ()	75% ()	77% ()
	実績	()	()	70.4 ()	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	()	()	()	70% ()	72% ()	74% ()
	実績	()	()	68% ()	—	—	—

※()内は外国人に関するもの。

戦略

【主なターゲット】
・首都圏/中京圏のカップル・夫婦
・台湾・香港を中心としたインバウンド
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
調査から再来訪意向につながる要因を分析し、
カップル・夫婦層に訴求するコンテンツを磨き
上げる。インバウンドが一極集中している河口
湖・富士山エリアから甲府へのツアー開発。
【観光地域づくりのコンセプト】
・湯村温泉:「湯村温泉は甲府・やまなしブラン
ド発信拠点になる」
・甲府市全体:「自然・歴史・文化が人を呼び賑
わいを創出する信玄公生誕の地・甲府」

具体的な取組

【受入環境整備】
・令和3年 観光拠点再生計画(観光庁)
・令和5年 昇仙峡にてスマートゴミ箱(圧縮・自
動回収のシステム)の設置
・インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた
観光コンテンツ造成支援事業(観光庁)
・令和5年「地域一体となった観光地・観光産業
の再生・高付加価値化事業」(観光庁)
・令和5・6年「地域一体となった観光地・観光
産業の再生・高付加価値化事業 面的DX化」
・令和6年「信玄の湯湯村温泉」再開発事業計画
策定業務(甲府市・山梨県)

【情報発信・プロモーション】
・令和5年度インバウンドの地方誘客や消費
拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事
業(観光庁)
【観光資源の磨き上げ】
・日本観光振興協会「日本遺産体験周遊
ツーリズム事業」



「信玄の湯湯村温泉」再開発事業計画 マルシェ・ジュエリープラザ